平成25年度　Ｄブロック勉強会　アクションプラン

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成26年２月６日（木）

◆個人で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

なぜ？疑義照会をかくさなければならないのか？

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　が問題

◆班で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

患者のニーズを解決するための疑義照会ができていない事

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　が問題

◆アクションプラン

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| |  |  | | --- | --- | | D4-b班 | 目標：患者と薬剤師が納得できる疑義照会をする |   　　目標にいたる具体的な解決策   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | いつ  （実施時期） | これから | 誰が  （実施主体） | 薬剤師 | | 誰に  （働きかけ先） | 患者・医師 | | | | どのように  （方法） | 1. 基本的に、患者に声掛けして疑義照会を行う 2. ケースバイケースで、疑義照会を行うタイミングや内容で、患者の前で行うか、離れた所で行うかは、適確に行い、結果の説明、伝え方にも配慮する。 3. 患者のニーズに応える為、明確な回答を行えるよう、日頃より薬剤師としての研鑽をつみ、医師ともコミュニケーションをはかり疑問点を解消しておく。 4. 日頃から医師に、併用薬情報、薬に関する情報等作成し、情報を発信する。 | | | | 備考 |  | | | |

◆振り返り

・疑義照会をする際にはきちんと患者に説明後行うよう、薬局で取り組む。

・怪しきことは、許容範囲内でも薬学的見地で判断し、きちんと医師に確認・意見をするよう取り組む。

・宮の陣グループで顔が見えて良かった。

・人数少なく、発言の多少はあっても全員がディスカッションに参加出来たと思う。

・いつも薬剤師会で会話する仲間は、勤務者であっても高い見識で将来を見据え考えているが、普通の方は

そうはいかない…と深く認識しました。だからこそ、我々がしっかり情報を発信しなければならないのだと思う。